

報告事項 2

平成 28 年度 第 2 回 長野県いじめ問題対策連絡協議会

- 「いじめ防止子どもサミット NAGANO2016」を開催しました … p 1
- いじめ防止子どもサミット NAGANO 取組発表の概要 …… p 2
- 平成 28 年度いじめ防止子どもサミット NAGANO・メッセージ… p 3
- いじめ防止子どもサミット NAGANO 児童生徒アンケート …… p 4
- いじめ防止子どもサミット NAGANO 参観者アンケート …… p 5
- 平成 28 年度全国いじめ問題子供サミット参加報告 …… p 6～p 7

「いじめ防止子どもサミット NAGANO2016」を開催しました

心の支援課

1 目 的

いじめをなくすためには、子どもたちが自らいじめについて考え、自らの手で解決に向けて取り組んでいくことが効果的である。このことを踏まえ、いじめ防止に主体的に取り組む児童生徒が集い、交流する機会として「いじめ防止子どもサミット NAGANO」を開催し、このような取組の中核となるリーダーを育成するとともに、県内各地での多様な取組の実施を一層推進する。

2 主 催 長野県教育委員会

3 サミットテーマ 「私たちは、いじめの問題に真正面から向き合います！」

4 開催日時及び場所等

- (1) 日 時 平成 28 年 11 月 26 日(土) 10 時 00 分から 15 時 00 分
(2) 場 所 長野県総合教育センター講堂（塩尻市片丘南唐沢 6342-4）
(3) 参 加 校 小学校 10 校、中学校各 9 校、計 19 校（児童生徒約 61 名）
取組発表校は小学校・中学校 各 5 校

5 内 容

項 目	内 容	備 考
各学校の取組発表	○各学校のいじめ防止の取組を、子どもたちが工夫を凝らして発表する。(発表希望の小 5 校、中 5 校) ○ステージ発表とは別に、フロア掲示版にて各学校の取組を模造紙で展示する。(参加校 19 校)	【参加校 19 校】発表校 10 校 西内小、米沢小、丸山小、朝日小、大豆島小、手良小、寿小、塩尻東小、佐久平浅間小、平岡小 飯島中、常盤中、小海中、鉢盛中、緑ヶ丘中、丸子中、岡谷東部中、丘中、更埴西中
グループ・ディスカッション	○子どもたちがグループに分かれ、他校の取組などを聞きながら、いじめ防止に向けて何ができるか討議を行う。(小・中別に学校混合 10 グループ)	【グループテーマ募集】 ・あだ名はいじめにつながるか？ ・いじめとふざけの境界線は？ ・いじめられている人が相談しやすくするには？ 等
全 体 会	○グループ・ディスカッションで討議された内容をもとに「いじめ防止子どもサミット NAGANO・メッセージ」としてまとめる。 ○全国サミット出場校(1 校)の選出をする。	【全国サミット】 平成 29 年 1 月 21 日(土)東京都

6 特色・その他

- 子どもたちの主体的な取組となるよう、自ら開会宣言や司会進行など、サミット自体の運営を行うよう取り組みました。
- 保護者、学校関係者、関係機関・団体、一般県民など誰でも参観できるサミットとし、県民総ぐるみによるいじめ防止に向けた機運の向上を目指しました。
- 本大会の参加校から、全国サミットへの長野県代表を 1 校選出しました。(須坂市立常盤中学校)
- 各学校の取組発表やグループ・ディスカッションで討議したいじめ防止の内容(サミット・メッセージ)を、今後、県内すべての学校に周知し子どもたちの主体的な取組を推進します。

いじめ防止子どもサミットNAGANO 取組発表の概要

①取組発表の『タイトル』及び概要 ②発表形態 ○発表時間は5分間（厳守）です。

No.	発表校	取組発表の概要・発表形態など
1	西内小学校	①『西内小なかよし班活動の紹介』 西内小学校で行っているなかよし班活動では、1年生から6年生までの縦割り班で活動し、全校が仲よくなれるように取組んでいます。 ②「プロジェクター使用」
2	米沢小学校	①『人権の花運動から学んだこと』 米沢小学校では、「人権の花」運動を通して、人との関わり方の大切さを学びました。花を育てることで人の心も育ちます。 ②「プロジェクター使用」 活動内容からいじめ防止を提案します。
3	常盤中学校	①『自分たちの手で作ろう・守ろう「インターネット・SNS」に関する常中ルール』 生活委員会を中心に常盤中の「インターネット・SNS」に関する常中ルールを作成しました。月に一回「心の花の日」の取り組みも紹介します。 ②模造紙に日頃の取り組みをまとめ発表。
4	小海中学校	①『小海中学校生徒会 いじめ防止への取組み』 小海中生徒会グランドデザインの中で「いじめのない学校作り宣言」を中心に掲げ、平和アンケート、全校での話し合い、全校レクなど、楽しい学校生活につながられるように取り組んでいます。 ②「プロジェクター使用」でステージ発表
5	丸山小学校	①『E G A Oいっぱい！丸山小！』 笑顔があふれる学校をつくるために、児童会で取り組んできた活動を紹介し、いじめ防止に繋がる思いを伝えます。 ②「プロジェクター使用」
6	飯島中学校	①『いじめのない学年・学級を創るために～学級・学年力の向上～』 「いじめのない学年・学級」をめざして、学級力アンケートを実施し、結果をグラフ化して話し合いました。その後、「学年別の人権縦割り討論会」や「生徒による学年エンカウンター」を行っています。 ②「プロジェクター使用」人権学習の様子を発表とエンカウンターの実施
7	緑ヶ丘中学校	①『緑ヶ丘中学校 いじめ追放宣言の見直しと意識づけ』 緑ヶ丘中学校「いじめ追放宣言」が生徒会の力で作られて10年が経つ。この見直していくことで、会員の意識が高くなるように励んでいます。 ②「プロジェクター使用」
8	大豆島小学校	①『みんながつながる大豆島小に』 今年度の児童会のテーマは、『みんながつながる大豆島小に』です。いじめを許さず、みんなが仲良くなるための児童会活動の様子を紹介します。 ②「プロジェクター使用」
9	朝日小学校	①『‘スマイル’あふれる学校を目指して』 今年度の児童会目標から定めた合い言葉‘スマイル’のもと、6つの委員会が協力して、笑顔あふれる仲よし学校を目指した活動をしています。 ②「プロジェクター使用」
10	鉢盛中学校	①『鉢盛中学校いじめ追放宣言の制定およびいじめ追放集会について』 鉢盛中では、生活委員会が中心となり平成26年にいじめ追放宣言を制定。一人一人の思いや大切にしたい事を考えていじめ追放集会を行っています。 ②ステージ上で、「プロジェクター使用」にて発表

いじめ防止 子どもサミットNAGANO サミットメッセージ

主催：長野県教育委員会
協賛：長野県教育者協議会
後援：長野県教育者協議会

8つのテーマで真剣に
話し合った内容を
メッセージにまとめました。



クラスや児童会・生徒会
でも、テーマについて
話し合ってみよう！



(サミットテーマ)

私たちは、いじめの問題に真正面から向き合います！



あだ名はいじめにつながるか？

- その名だまで相手や周りの人がどう思うか考えよう。
- 遊ぶときは相手に「いいかな？」と聞くことも大切にしてよう。
- 嫌だなと思ったらはっきり伝えよう。伝えにくいときは先生や保護者に相談しよう。

いじめとふざけの境界線はあるか？

- 相手が「楽しい」「嬉し」と感じたら、それはいじめです。
- もしも間違っていて怒らせてしまったら、「ごめんな」と素直な気持ちも伝えよう。伝えにくいときは、怒いを伝える保護者(親)を先生につけてもらおう。

手紙や交換日記などでいじめにつながることはあるか？

- 書くときや交換するとき、入を書けけないルールを決めよう。
- 「楽しかったことを書く」など、誰がみても入を消しませないものにしよう。

見えにくい「ネットいじめ」の予防は？

- どんなことが「ネットいじめ」につながるが難しいか、予防のためのルールや決まりを考えよう。
- ネットのやりとりでは、言葉からいじめにつながることもあるので、困ったときは相談することを一層にしよう。

いじめを早くみつけるには どんな方法があるか？

- お互いをよく知る関係で何でも話せる友だち関係をつくろう。
・あいさつ ・学校レクリエーション ・いいところさがし など
- 自分のことを積極的に話してもらおう。
・参加型アンケートで悩みを伝えよう
・友達間・児童会活動でアンケートを行う
・気持ちも受けるときは話を聞いて聞かせる
- 周りにへの気配りが早い仲間につながる。
・友だちのちょっとした変化に気づき声をかける



いじめのない楽しいクラス、 学校をつくろう！

- 相談しやすい環境をつくらう。
・明るいあいさつ ・お互いを知る楽しい活動を定期的にすすませよう
- 周りに流されず、自分の考えを大切にして行動しよう。
・相手の立場になって考え、行動する
・誰とでも積極的に話せよう、話聞かせる
- いじめがなと思ったら報告をせずに、積極的に声をかけよう。
- いじめについて話し合う機会を先生につけてもらおう。
- 先生にも、児童生徒のクラスを積極的にみてもらおう。



いじめられている人が相談 しやすくするには？

- 自分から気づいて「口と声」をかけよう。
- どんな悩みも気軽に聞き、相手の立場になって考えよう。
- いじめで苦しんでいる人をひとりでせずに仲間になろう。

いじめのない明るい未来を考えよう！

- 自分なりの手段でコミュニケーションをとり、入との絆を育てよう。
・共通の目標を見つけ、いつでも相談できる関係をつくらう
- いじめなどで難しい思いをいたしたときは、決してひとりで抱え
ずに、信頼できる人とつながり解決しているところ。



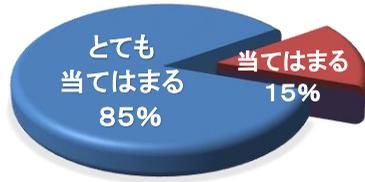
いじめ防止子どもサミットNAGANO 児童生徒アンケート結果

<参加校児童生徒60名の集計>

平成28年11月26日実施

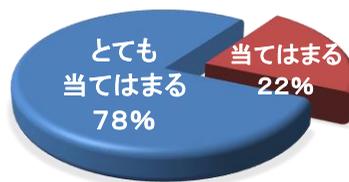
I 【いじめ防止子どもサミットNAGANOについて】

①いじめ防止の取組発表は、あなたのこれからの取組みの参考になりましたか。



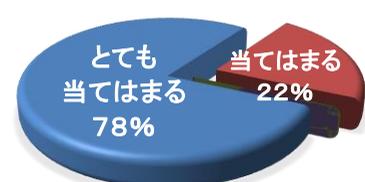
あまり当てはまらない0%
まったく当てはまらない0%

②グループディスカッションでは、自分の考えを出して、深めることができましたか。



あまり当てはまらない0%
まったく当てはまらない0%

③いじめをなくしていくために、自分も動き出そうという気持ちが強まりましたか。



あまり当てはまらない0%
まったく当てはまらない0%

II 【あなたの学校の、いじめをなくすための活動について】

①あなたの学校における、いじめをなくすための取組みは有効だと思いますか。



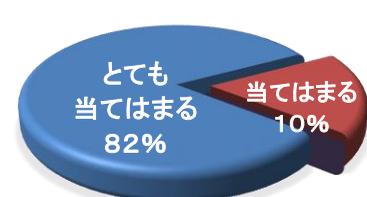
あまり当てはまらない5%
まったく当てはまらない0%

②サミットを終えて、あなたの学校に取り入れたい活動などはありましたか。



あまり当てはまらない3%
まったく当てはまらない0%

③サミットメッセージは、あなたの学校でも活用できると思いますか。

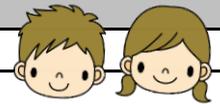


あまり当てはまらない0%
まったく当てはまらない0%

III 【感想・その他】

① サミットに参加しての感想

- ・いろいろな意見を持った人が集まって話し合いをすることは思っていた以上に楽しく勉強になった。
- ・意見をまとめることは苦労したが、最終的に全員が賛成してくれて、話し合いの達成感があった。
- ・ディスカッションでは、自分と同じアイデアを持った人が多く、自分の考えがさらに深まった。
- ・相手と目を見て話し合うことによって考えを伝えることは、私にとって良い経験になった。
- ・「本当にいじめをなくしたい」という気持ちを持って頑張っている人がたくさんいると感じた。
- ・学校に帰ってもあきらめずにできることを取り組んでいこうと思うことができた。



② あなたは、学校にもどり、どんないじめ防止の活動をしたいですか。(クラス、児童会・生徒会などで)

- ・児童会から、サミットメッセージを呼びかけていきたい。
- ・レクリエーションなどで、みんなのことをもっとよく知り、いじめのないクラスをつくるための活動をしたい。
- ・児童集会を行い、違う学年の人といじめについてもっと話し合いたい。
- ・明るい未来をつくるためには、お互いにコミュニケーションをとることを1番大切にしたい。
- ・常盤中のSNSのルールを参考にしたい。人のことを気遣いながら活用できるSNSにしたい。
- ・絶対がいじめについて話し合う機会をとるべき！生徒会で今日のことを話して取り組んでいきたい。

③ 身近ないじめをなくすために、もっと考えたいこと、やってみたいことを教えてください。

- ・いじめが起こらない環境をつくるのが大切なので、定期的にレクリエーションなどを行いたい。
- ・今回のサミットでのメッセージづくり、ポスターづくりの活動を全校でやってみたい。
- ・他校の人と共同で、いじめを防ぐためのルールづくりの活動をしたい。
- ・生徒会でも無記名のアンケートをやってみよう。

④ 来年度の「いじめ防止子どもサミットNAGANO」についての要望や意見を教えてください。

- ・ディスカッションでたくさんの意見が聞けて視野が広がられた。
- ・参加人数を増やしていろんな人の意見を聞きたい。
- ・3年生(受験生)にはテストが近く準備が大変だった。中学は1・2年生の方がいいと思う。
- ・アイスブレイクのおかげで緊張がほぐれた。もう少し仲良くなってから話し合いをすともっとスムーズに話せる。
- ・私はこのサミットを通してすごくいい経験ができた。来年もいじめをなくす活動がんばっているみんなが勇気を持ってするようなサミットになるといい。

いじめ防止子どもサミットNAGANO 参観者アンケート結果

＜参観者60名、アンケート回答22名＞

平成28年11月26日実施

【あなたご自身についてお伺いします】

1 本日、どのようなお立場で参加されたか、当てはまるものに○をつけてください。

1 小・中学生	1人	5 教育委員会(教育委員会)	2人
2 高校生	0人	6 学校・地域ボランティア	14人
3 大学生	0人	7 報道関係者	0人
4 一般参観者	3人	8 その他(PTAなど)	2人

【「いじめ防止子どもサミットNAGANO」についてお伺いします】

2 今回のサミットについて、参観する前と参観された後の感想についてお答えください。

	そう思う	まあそう思う	あまり そう思わない	まったく そう思わない
--	------	--------	---------------	----------------

① 本サミットのような取り組みは、いじめ防止に有効性があると思われていましたか？

＜参観前＞	3	15	4	0
＜参観後＞	12	9	1	0

② いじめ防止には、子どもたちの主体的な取り組みが必要だと思われていましたか？

＜参観前＞	12	10	0	0
＜参観後＞	12	10	0	0

③ いじめ防止のために、大人がすべきことについて明確な考えをお持ちでしたか？

＜参観前＞	7	13	2	0
＜参観後＞	15	4	3	0

3 本日の「いじめ防止子どもサミットNAGANO」についての感想(主な意見)

- ・初対面の子ども達が、自分の意思をしっかりと伝えることにより、話を深めていることに驚き感心した。
- ・子ども達が自分達の力でテーマを追究していく姿を見て、このような取組を各学校・クラスで行っていくことであれば、いじめを防止するひとつの手段となると感じた。
- ・参加に向けて自分なりの考えを持つなどの準備の取組に価値がある。また、人前で意見を述べるという経験も含め成長につながったと思う。
- ・発表校を数校として参観児童生徒を県内各校1名とするなどして、多くの子どもたちにこのサミットの雰囲気を感じさせたい。
- ・小学校、中学校それぞれ発達に応じた取組がなされていることをあらためて感じた。「いじめ防止」ということを意識せずに毎日楽しく過ごすためにどうあったらよいか、そこが大人のすべきことだと思う。
- ・参観者も多くのご意見を伺える良い機会となった。子ども達も「自分たちが何とかすればいじめはなくなるかもしれない」とやる気満々になった。

4 次年度の開催に向けて、今日のサミットの改善点を含め、どのようなことを期待されますか。

- ・より多くの子ども達が参加できるサミットを考え、このような取組をどのように広げていくか、参加したみんなでも考えることも期待したい。
- ・開催方法の工夫として、ブロック開催→ブロック代表→県大会→全国大会などの方法も考えられる。
- ・中学3年生のこの時期の参加は難しい。ネクストリーダーの育成として1・2年生の参加でもよいと思う。
- ・参観者や引率者にも、テーマを設けて話し合う機会があるとよい。
- ・参加する子どもたちの準備や練習の負担軽減を考慮してほしい。



【「いじめ防止」の取り組みについてお伺いします】

5 あなたは、どのような取り組みをすればいじめがなくなると思いますか。

- ・道徳教育、人権教育、命の尊さに触れる体験などを通して、子ども達が主体的に取り組める目標をもつ。
- ・自己肯定感を高める活動をする。自分は認められているということに気づく活動をする。
- ・様々な個性を持った人がいるということを理解し合い、考える機会をつくる。
- ・大人の意識を変え、大人自身が人権感覚を磨く。教師と親が、子どもとゆっくり話せる環境をつくる。

平成 28 年度 全国いじめ問題子供サミット 参加報告

- 1 日 時：平成 29 年 1 月 21 日（土）10：00～16：45
- 2 場 所：文部科学省 3 階 講堂
- 3 参加者：須坂市立常盤中 4 名（生徒 3 名、引率教諭 1 名）
- 4 全体参加数：児童生徒 146 名、教職員・教育委員会関係者 139 名

5 内 容

□ポスターセッション

*参加校を A・B グループに分け、A グループが発表者のときには B グループが聴衆とした。

*発表は【発表 5 分～質疑応答 3 分～感想記入 2 分】の流れで 3 回行い、その後、発表と聴衆を交代して発表した

～参考になった発表～

〈前橋市立鎌倉中学校〉「鎌倉中ピアサポート活動」

- ・ピアサポーターに全校の 3 分の 1 が登録。
- ・学期ごとの「ワイド相談」の時間。上級生のピアサポーターが下級生の教室に行き、部活動や学習などの悩み相談を受ける
- ・中学 1 年生は 3 学期に小学校へ行き、小学生の相談を受ける。
- ・夏休みにピアサポーターの相談力の向上のために「ワークショップ」を開催。講師は SC や相談担当職員等。話の聴き方や接し方など学習する。



□グループ協議 テーマ「学校いじめ防止基本方針に私たちの意見を取り入れよう」

*参加児童生徒を 24 グループに分ける。(1 グループ 6～7 名)

～参観したグループで出された意見から～

(1) いじめを未然に防止するためには児童生徒のどのような活動が有効か

- ・関係づくりが進むようなレクリエーションを行う。普段から交流のきっかけを作る。
- ・団結力の高いクラスではいじめは少ないので、クラスでまとまれるような企画を実施する。
- ・「いじめダメ」と言葉で言うのではなく、「学校生活を楽しくしよう」と言い換えて、全校が仲良くなるようなやり方を生徒会が中心に取り組む。

(2) いじめの早期発見のためのアンケートについて、どんな質問やどんな方法が答えやすいか、先生に相談しやすくするための工夫について

- ・自分のことだけではなく、仲間のことも書けるようにする。
- ・いじめの有無は答えにくいと感じる場合もあるので、「学校生活は楽しいですか」などのほうが書きやすい。
- ・先生には休み時間の状況を見てほしい。
- ・アンケートは教室で書くと仲間気づかれることが心配。家でじっくり書くようにしたほうがよい。

(3) いじめへの対処 学校にこんな対応をしてほしい

- ・一対一で話し合う前にお互いの話を先生に聞いてほしい。
- ・いじめる側の理由を正当化するわけではないけれど、理由を聞いて欲しい。何がよくなかったかいじめる側の考えを直さないといけない。
- ・教科担任の先生もいじめについて知っているなど、先生どうしも繋がってほしい。
- ・私の学校では、いじめが大きくなったときはスクールサポーターに相談するので安心できる。学校の先生以外の人も協力してくれるのは心強い。



□全体交流

- ・いじめの早期発見には、生徒同士、生徒と先生などお互いにコミュニケーションをとることが大切だと思う。レクリエーションや体育祭などのイベントは関係作りを深めるいい機会。
- ・日頃から互いに接していると、変化に気づけることがある。
- ・いじめが起きたとき、自分たちで解決することが大切だと思うが、先生の力を借りる必要があるとき先生に相談できる仕組みがあることが大切だと思う。
- ・学校は生徒に学校いじめ防止基本方針を伝えて、「守られている、大丈夫」ということを知らせていくことが必要だと思う。

6 感想

(1) 長野県代表 須坂市立常盤中学校の生徒の姿から

○ポスターセッション

- ・「いじめ防止子どもサミット NAGANO」での発表と同様、「常中いじめをなくす5つの取組」について、取組を桜の花びらに見立てて発表した。視覚的にもわかりやすく説明に聴衆も聞き入っていた。
- ・毎月の「常盤中人権宣言」の唱和など、伝統の取組を大切にしながら、「きらめき箱」など生徒会新企画を実行する内容は、他県生徒にとって参考になっていた。
- ・ネット、SNS 使用のルール策定について質問が出されていた。明文化されたルールを参考にしたいと写真撮影している方もいた。

○グループ協議

- ・常盤中Aさんは、グループの司会役を自ら引き受け、意見を引き出すよう話し合いを進めていた。他の生徒も他の意見と絡め、自らの考えを主張していた。

○その他

- ・常盤中 3 名の生徒は、礼儀正しく、また明るい雰囲気でも他県児童生徒と積極的に関わり、長野県代表としての自覚をもって活動していた。



(2) 今後生かしたい点

①29年度「いじめ防止子どもサミット NAGANO」に向けて

○各学校取組の発表方法

- ・ポスターセッションは、短時間に多くの学校が発表し、聞くことができる、

○全体交流

- ・グループで自分の考えを伝え、意見交換で視野を広げた後に全体交流を行うことは、いじめに対して主体的に向き合おうとする姿勢を高める上で有効だと感じた。

②いじめ防止への取組 等

- ・参加児童生徒の中には、学校いじめ基本方針についてよく知らないと答える姿も合った。いじめ問題への適切な対応がなされることを伝えるために、各学校で基本方針について周知していきたい。
- ・児童生徒が基本方針を「自分たちを守ってくれるもの」として捉えていることから、今後、児童生徒が教師とともに基本方針の見直しに関わるなかで、基本方針がいじめの防止、早期対応につながるようにしたい。
- ・「スクールサポーターが入っていると安心」「ボランティアなど地域の方が学校に入って色々な目があることで、いじめが減った」など、家庭や地域等の方に関わってもらうことも必要である。